



真夏のまぶしい日差しがチクチクと、身体に感じるほど毎日、毎日暑い日が続いていますが、涼しい室内でひよこ組のつきひちゃん、ふみとくん、ひなちゃん、ゆあちゃん、いちかちゃんは、気持ちよく、機嫌良く過ごしています。廊下に遊び場を移すと、ふみとくん、つきひちゃんは小走りを、ひなちゃん、ゆあちゃんはよちよち歩き、いちかちゃんは伝い歩きにハイハイとそれぞれ発達の違いはありますが、好奇心いっぱい探索し、楽しみながら行動範囲を広げていくようになってきました。夏風邪や暑さ等で体温調節の難しいこともあります。子どもたちが体調をくずさないよう十分注意しながら、水分を十分に取り、ゆったり休息することを大切にしています。

今年はコロナの影響で例年通りには、お盆休みやお祭り等、楽しく過ごすことは出来ないかもしれませんが、自粛中ですが、元気に夏を乗り切ってください。

☆初めての水遊び 気持ちいいね。

タライや小さなバケツに水を入れて2階のテラスにおいて置くと、太陽の日射しでお水が温くなり、ぬるま湯のようになります。その水を子どもたちは、手で触ったり、小さなバケツの中の水をジャバーと、こぼしたりして遊んでいます。タライの中にも、こどもたち同士と一緒に入っては、にこにこ笑顔で「気持ちいいよー」と、言っている感じがします。保育士が「お部屋に戻ろうか?」と言葉をかけるとういよいよ、と首をふります。

天候と子どもたちの体調を見ながら、お盆前までは、コロナ対策をしながら楽しむ予定です。

☆一緒に遊ぼう

高低差のある巧技台やマット、踏み板を繋げて、その上を子どもたちが歩けるようにすると、すぐに、ゆあちゃん、ひなちゃんが興味を示し、「あー」や「おー」と、言いながら、登ってきました。それを見ていたふみと君やつきひちゃんも登って来て、繰り返し行き来しているうちに、保育士が手を添えなくても、自分でバランスを取りながら、歩けるようになりました。いちかちゃんも近づいて来て、友だちの様子を見たり、マットの上にハイハイで登ったりしていました。少しずつ友だちと一緒に遊ぶ面白さや楽しさを感じることが出来るように育っていきと思います。



♪先生のスリッパ大好き♪

廊下に出ると、すぐに保育士の履くスリッパを見つけては、さっさささと履きます。そして、履いたまま、廊下をスリッパが脱げないようにゆっくり歩き散歩をしています。小さな可愛い足に大きな保育士のパカパカのスリッパを履いて歩く姿が可愛いです。





すみれぐみだより

令和2年8月7日（金）

ようやく梅雨が明け、晴れ渡った青空と、賑やかな蝉の鳴き声共に夏がやってきました。すみれぐみの子どもたちは、汗をかきながらも元気に身体を動かして遊んでいます。暑い日が続きますが、水分補給しながら夏の子どもたちの健康を守っていきたいと思います。

「水あそび」

夏本番の暑さにも負けず子どもたちは水遊びに夢中です。テラスに出ると子どもたちの表情は明るくなり、シャワーの下で水浴びをする子どももいれば、せつせとお水を汲んで花壇の水やりをしてくれる子もいます。いろいろな体験をして成長する子どもたちです。



♪わらべうたのしょうかい♪

♪うえから したから
おおかぜこい
こい こい こい

座っている子どもたちの上を、保育士が大きめのタオルの両端を持って上下に揺らし、歌いながら通っていくわらべうたです。

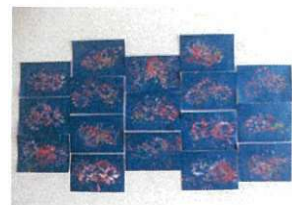
子どもたちは自分の頭の上をタオルが通っていくと手を伸ばしたりケラケラ笑っています。

ハンカチやバンダナでもできるので、おうちでも遊んでみてください。



～今月すみれ組～

トイレットペーパーの芯とストローを束ねた物を使ってスタンプをし、花火を作りました。できあがった絵を見ると、一人一人の個性が出ていて、面白いなと思いました。今クラスには、子どもたちが作ったたくさんの花火が上がっていて、夏を感じさせてくれています！今年の夏は花火が見れるといいですね☆



1歳児担任：太田・五島・木山



夏真っ盛り！空を見上げると青空に真っ白な入道雲が広がり、園庭では賑やかに蝉たちの声が鳴り響いています。そして、部屋の中では元気な子ども達の声が暑さを吹き飛ばしてくれています。

○みんなでバイキンをやっつけよう！

①ボール投げで。

世界中で猛威を振るっているコロナウイルスやみんなの周りにいる色々なバイ菌をやっつけよう…と、意気揚々の子ども達。ペットボトルに貼った「バイキンマン」や「カビルン」をめがけて、自分で作った新聞紙のボールを「えい！」と力いっぱい投げました。バイキンマン達にボールが当たって倒れ、机の下に落ちると、「やったあ」「やっつけた」と大歓声！をあげ喜んでいました。何度も起き上がるバイキンマン達を、みんなで倒して遊びました。

②ボーリングで。

ある日、おた君がプラレールの電車を5個立て並べていました。「おうちゃん、何してるの？」と保育士が尋ねると、「ボーリング！」と答え楽しそうに電車を倒していました。その言葉にヒントを得て、今度はバイキンマン達をボーリングのピンに見立てて並べてボーリング遊びをしました。大きな新聞紙のボールが転がると、見ていた友だちが「がんばれ！」と声援を送っていました。

一日も早く、新型コロナウイルスが治まることを願っています。



泡がいっぱい出てきたよ。

○水遊び楽しいな。

「水遊びを始めるよ。」保育士の言葉に、遊んでいたおもちゃを片付け始めます。とにかく、水遊びが大好きな15名の子ども達。毎日、今日はどんな水遊びをしようかな？と、子ども達の遊んでいる姿を思い浮かべ、ワクワクしながら考えている保育士です。

衣服を脱ぎながら「脱いだら入れるよ！」と、絵本「パンダ銭湯」の中の父親パンダの台詞を口にしながら、自分のかごに衣服を入れていきます。

冷たい水を嫌がっていた子どもも、今では身体中びしょ濡れになって喜んでいきます。花壇の花に「お花さん、水どうぞ。」と水を掛ける優しさも見られます。最後は暖かいシャワーにかかり、あがります。

○今日は何して遊ぼうかな…

所狭しと、部屋いっぱい広がって遊ぶ子ども達の姿が見られるようになりました。

「ままごと遊び」「ブロック遊び」「電車遊び」など、いくつかの遊びのグループが出来て、その中を行ったり来たりしながら、自分の落ち着く場所で遊んでいます。時々、トラブルが起こりますが、自分の気持ちを言葉で伝えたり、相手にも同じように思いがあることに気づくように支えています。「かして」「どうぞ」「有難う」「ごめんね」が自分から言えるようになりました。





令和2年8月7日(金)

梅雨がようやく明け、まぶしい太陽の日差しと共に夏がやってきました。毎日厳しい暑さが続いているようですが、子どもたちは暑さに負けず元気いっぱいの子供たちです。熱中症予防のため、戸外遊びでは炎天下を避け、こまめに水分補給をすることを心がけています。暑くなると食欲が落ちたり、睡眠不足になったりして夏バテしやすくなります。生活リズムを整えて、暑さを乗り切りましょう。



楽しかったね

先月末からプール遊びが始まりました。今年は5～6人の異年齢グループに分かれ、1人1回ずつ入りました。「今日は〇〇ちゃんがプールよ」「明日は〇〇君よね」と毎日楽しみにしていました。水着に着替え、シャワーを浴び準備万端でプールに向かった子どもたち。しかし大きなプールにびっくりしたのか階段に座ったまま年上の友だちが遊ぶ様子を見ている子どもが多かったです。楽しそうなお兄さんたちを見ているうちに、少しずつ中に入っていました。始めは水が顔にかかるのを嫌がっていた子どもも最後には手足をバタつかせ友だちと水をかけ合い遊んでいましたよ。プール遊びは終わりましたが引き続き泥遊びや色水遊びなど夏ならではのあそびを楽しみたいです。



「見て見て！！」

給食を食べ終わり、お昼寝までお部屋で絵本を見ながら過ごしていた時の事。トイレから「先生、見て。鼻水!!」と花音莉ちゃんの声が聞こえました。鼻水が出たのかなと思いながらトイレに行ってみると手を洗っていて手洗い石鹸のポンプからまるで鼻水が出ているように泡が出ていました。保育士と一緒に見に来た友だちも大笑い。花音莉ちゃんの発想にうなずきながら共感しています。



こすもす組担任：尾崎・草場

ひまわりぐみだより

令和2年8月7日(金)

ようやく梅雨が明け、まぶしい太陽の日差しと共に夏がやってきました。暑い日が続いていますが、セミの鳴き声に負けないくらい元気いっぱいの子どもたちです。今年はコロナウイルス流行の為、生活の中で制限されることがありますが、全てできないのではなく、この時期だからこそできることを子どもたちと一緒に楽しんできたいと思っています。



ー生長記録ー

6月からお届けしている、クラスで栽培中のひまわりと朝顔の生長の様子です。梅雨が明けたある日。登園してきた数人の子どもたちから「先生！朝顔のお花が咲いとるよ」と報告がありました。朝のお集まりのあと、一緒に園庭へ出ると、小さなプランター花を咲かせていました。「やっと咲いたね」と大喜びの子どもたち。しかし、その横にあるひまわりをみてみると、背は高くなっていますが、葉っぱは枯れかかっていた。「ちゃんとお水あげたのに…」「大きくなったのにね…」と少し悲しそうに話していました。枯れてしまうということも経験かなと思っていた数日後の今週水曜日。園庭に出た子どもたちから「先生、早く来て！」「ひまわりが！！」と呼ばれ行ってみると蕾があり咲きそうになっているのもありました。「早く咲いてほしいね」「大きいのが咲くかな？」と会話を弾ませていましたよ。開花報告ができる日も遠くないようです。



2020年の夏

今年の夏、プール遊びやお祭りなどがコロナの感染で思うようにできませんが、なにか面白いこと、夏らしいことができないかと考え、夏祭りを計画しています。子どもたちに「お祭り」といえばどんなことを思い浮かべるか聞くと、花火やお店屋さんなどの意見がでました。その中で、「みんなでお店屋さんになったら楽しそう」「やりたい」という声があったので、今どんなお店を出すか、どんなお祭りにしたいかなどを一緒に話し合っています。子どもたちにとって思い出に残る夏になると嬉しいです。

4歳児担任：草場・崎野



令和2年8月7日（金）

ようやく梅雨も明け、朝から大合唱を始めるセミたちが夏本番を知らせているようです。厳しい暑さにうだっているのは大人ばかりで、小麦色に日焼けした子どもたちは暑さも忘れ、水遊びや泥遊びなど夏ならではの遊びを満喫しています。疲れの出やすい時期ですが、暑い夏を乗り越えようと子どもたちと話し、早寝・早起き・朝ご飯の習慣を心がけています。まだまだ暑い日は続いていますが、7日に立秋を迎え、暦の上では秋となります。秋に豊かな育ちが実るよう、この夏の間さまざまな体験・経験を通して、子どもの育ちを支えていきたいと思ひます。



夏って最高～♪

今年、プール遊びの中止も考えられましたが、この状況のなかでも子どもたちの心に残る経験になってほしいと願ひ、異年齢グループで少人数ずつ日数を分け、感染予防に配慮しながら、プール遊びを計画しました。「今日プールに入る日?」「私は明日!早く明日になってほしい～」と待ちきれない様子の子もたち。プール遊びが始まると、園庭には「きゃー冷たいー!」と真夏の太陽にも力強い蝉の鳴き声にも負けない、子どもたちの元気な歓声が響き渡りました。ワニ泳ぎをしながらフープをくぐったりバタ足をしたり、友だちと水を掛け合ったり…ダイナミックに遊ぶ子どもたちのなかには、「はあ～気持ちいい～」とまるでお風呂のように肩まで水に浸かっている姿も。また、廃材を使って作った舟を浮かばせ、素材によっては沈んでしまう舟に、「同じ牛乳パックなのに何で浮かばんの?」と浮き沈みの不思議さを感じていました。他にも、泥遊びや色水遊び、スライムや小麦粉粘土の感触遊びなどこの時期ならではの遊びを通して、“なぜ?なに?”という疑問から多くの経験ができたらと思っています。

「ごめんね、きゅうりさん」

休み明けに畑に行くと、大きなキュウリを見つけ「やったー!こんなに大きくなってる!」と大喜び。お部屋に戻り長さを測ってみると、なんと26センチ!初めは大きなキュウリに喜んでいた子どもたちでしたが、「でも、こんなに大きなキュウリ、お店で見たことないよね。」「こんなの食べたことない…」「もっと早くとってあげた方が良かったのかも。」とキュウリが生長しすぎていたことに気づきました。すると「ごめんね。もっと早く取ってあげたらよかったね。」とそっとキュウリに話しかけていました。

初めての野菜のお世話に、戸惑ひ、喜び、失敗の経験を繰り返ひ、自分たちの糧にしています。愛情を込めて見守り、語りかけ、驚きと発見の日々です。

ゆっくりゆっくり…

朝夕の受け入れのときのことでひ。「小さいお友だち、2階まで連れて行く!」と子どもたち。初めはお互ひが緊張しているようでぎこちない足取りでしたが、今では「〇〇ちゃんおはよう!一緒に行こう」「階段はゆっくりね」「よいしょ…よいしょ…」と年下の友だちを気遣って話しかけながら、2階まで歩調を合わせて歩いています。たまによたっとする姿にひやっとなりますが、そんな保育士の心配をよそに、お互ひ嬉しようにぎゅっと手を握って歩く姿は、人と人とのつながりや温かみを感じているようで、これが信頼への繋がり、思いやりへと繋がって行くのだと思ひて見つけています。